

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
特別講義：Special Lectures		4S	1	50分×30回	必修	講義・通年	○
教員名	外部講師：Visiting Lecturers						
授業概要	企業の工業技術者等を講師として招聘し、先端技術の現状や技術者としての倫理観、高専卒業生の社会的役割への要望などの講演を聴く。						
到達目標				評価方法			
1)技術者としての社会的役割に対する自覚を養うことができる。 2)技術者としての倫理観を養うことができる。 3)先端技術の一端に触れることにより、優れた技術者になるためのモチベーションを高めることができる。				講演ごとに提出するレポート(100%)によって評価する。 ただし、1テーマでもレポートが未提出の場合は評価の対象としない。			
学習・教育目標		(D) ①		JABEE基準1(1)		(d)-(2)-a)	
回数	項目	内 容		回数	項目	内 容	
		講演会を8回程度行う。今年度の講演内容は未定である。 昨年度の講演題目は以下のとおりである。 (講義は前後期にわたって適宜分散した日程で実施する)		第16			
				第17			
第1		知的財産制度(特に特許制度)の概要 (本校教育コーディネータ 黒木良明 氏)		第18			
第2		環境計測の現状 (㈱片岡計測器サービス 川久保賢隆 氏)		第19			
第3		組込システムの開発 (㈱ソフトウェアリサーチ 田中 康之 氏)		第20			
第4		企業における制御技術の応用 (宇部興産機械㈱ 平泉一城 氏)		第21			
第5		電子部品実装の実際 (㈱ティーユーエレクトロニクス 中嶋一裕 氏)		第22			
第6		メカトロニクス技術とその応用 (山口大学工学部 江鐘偉 氏)		第23			
第7		高専エンジニアの可能性 -私の起業体験から- (㈱ブラテック 岩崎正明 氏)		第24			
第8		企業が求める人材像について (㈱富士通九州システムズ 福浦義彦 氏)		第25			
第11				第26			
第12				第27			
第13				第28			
第14				第29			
第15				第30			
自学自習の内容	レポート課題を課す。						
関連科目							
教科書	使用しない						
参考書	本科で使用した専門科目の教科書						
授業評価・理解度	期末に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	制御情報工学科長						
備考							